

慣用句（240問） 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 こき使う 「あごで○○○」	あごで使う
2 すごく疲れる 「あごを○○」	あごを出す
3 言い間違いをからかう 「○○○○を取る」	あげ足を取る
4 赤字になる 「足が○○」	足が出る
5 腐りやすい 「足が○○○」	足が早い
6 落ち着かない 「足が○○○○ない」	足が地に着かない
7 足が疲れる 「足が○○になる」	足が棒になる
8 遠くへ行く 「足を○○○」	足を延ばす
9 邪魔をする 「足を○○○○」	足を引っ張る
10 悪いことをやめる 「足を○○○」	足を洗う
11 決断できずにためらう 「○○○○を踏む」	二の足を踏む
12 引け目を感じて、対等な関係になれない 「頭が○○○ない」	頭が上がらない
13 尊敬する、敬服する 「頭が○○○」	頭が下がる
14 どうしたら良いか分からずに、思い悩む 「頭を○○○○」	頭を抱える
15 上達する 「腕が○○○」	腕が上がる
16 能力を発揮しようと張り切る 「腕に○○をかける」	腕によりをかける
17 能力を発揮する 「腕を○○○」	腕を振るう
18 世間に知り合いが多い 「顔が○○○」	顔が広い
19 有名になる 「顔が○○○」	顔が売れる
20 名が知れており、多少の無理が通る 「顔が○○」	顔が利く

21 恥をかかせる 「顔に〇〇〇〇〇」	顔に泥をぬる
22 恥をかかせる 「顔を〇〇〇」	顔をつぶす
23 その人の名誉を保たせる 「顔を〇〇〇」	顔を立てる
24 味方をする 「肩を〇〇」	肩を持つ
25 対等の位置に立つ 「肩を〇〇〇〇」	肩を並べる
26 驚き、ひやりとする 「肝を〇〇〇」	肝を冷やす
27 うっかり話してしまう 「口が〇〇〇」	口がすべる
28 口数が少ない 「口が〇〇〇」	口が重い
29 何度も注意する 「口を〇〇〇〇〇〇〇」	口をすっぱくする
30 何人もの人が同じことを言う 「口を〇〇〇〇」	口をそろえる
31 不満気にものを言う 「口を〇〇〇〇」	口をとがらす
32 何か悪いことをしていながら、知らないふりをする 「口を〇〇〇」	口をぬぐう
33 白状する、自白する 「口を〇〇」	口を割る
34 最初に発言する 「口を〇〇」	口を切る
35 ものごとを最初に始め、きっかけを作る 「口火を〇〇」	口火を切る
36 おだてられ、だまされる 「〇〇〇〇〇〇に乗る」	口車に乗る
37 支払うべき金が多く、お金のやりくりができない 「首が〇〇〇〇ない」	首が回らない
38 不思議に思う/疑問に思う 「首を〇〇〇〇」	首をかしげる
39 待ち焦がれる 「首を〇〇〇〇〇〇」	首を長くする
40 なかなか行動を起こそうとしない 「腰が〇〇〇」	腰が重い

41 謙虚である 「腰が〇〇〇」	腰が低い
42 話の邪魔をする 「話の腰を〇〇」	話の腰を折る
43 追い詰められて慌てる 「〇〇に火がつく」	尻に火がつく
44 無関心な態度をとる 「〇を向ける」	背を向ける
45 世話が焼ける 「手が〇〇〇」	手がかかる
46 だまされる 「手に〇〇」	手に乗る
47 自分ではどうしようもできず、対処に困る 「手に〇〇〇〇」	手に負えない
48 自分ではどうしようもできず、対処に困る 「手に〇〇〇」	手に余る
49 力が及ばず、どうしようもできない 「手も〇〇も出ない」	手も足も出ない
50 何もせずにぼーっとする 「手を〇〇〇〇」	手をこまねく
51 相手を導く 「手を〇〇」	手を引く
52 他のことにも挑戦する 「手を〇〇〇〇」	手を広げる
53 扱いに困る 「手を〇〇」	手を焼く
54 縁を切る、関係を絶つ 「手を〇〇」	手を切る
55 話をつける、前もって対策をしておく 「手を〇〇」	手を打つ
56 自ら世話をして大切に育てる 「〇〇〇にかける」	手塩にかける
57 全くかなわない 「歯が〇〇〇〇」	歯が立たない
58 悔しさ、苦しさなどを必死に我慢する 「歯を〇〇〇〇〇」	歯を食いしばる
59 誇らしい 「鼻が〇〇〇」	鼻が高い
60 取り合おうとせず、冷淡に対応する 「鼻で〇〇〇〇」	鼻であしらう

61 自慢する、得意がる 「鼻に〇〇〇」	鼻にかける
62 調子に乗っている人をへこませる 「鼻を〇〇」	鼻を折る
63 動じない、落ち着いている 「腹が〇〇〇」	腹が据わる
64 性格が悪い 「腹が〇〇〇」	腹が黒い
65 怒りがこみあげてくる 「腹が〇〇」	腹が立つ
66 決断する 「腹を〇〇〇」	腹をくくる
67 本心を打ち明ける 「腹を〇〇」	腹を割る
68 覚悟を決める 「腹を〇〇〇」	腹を決める
69 大笑いする 「腹を〇〇〇〇」	腹を抱える
70 嫌なことを言われて聞くのが辛い 「耳が〇〇〇」	耳が痛い
71 何回も言われる 「耳に〇〇ができる」	耳にたこができる
72 聞いたことが信じられず、驚く 「耳を〇〇〇〇」	耳を疑う
73 きちんと聞く 「耳を〇〇〇〇〇」	耳を傾ける
74 よく聞こうとして集中する 「耳を〇〇〇」	耳を澄ます
75 聞き入れる 「耳を〇〇」	耳を貸す
76 突然の出来事に驚く様子 「〇〇〇に水」	寝耳に水
77 ワクワクする 「胸が〇〇〇」	胸が踊る
78 不安や悲しみで、辛さを感じる 「胸が〇〇〇」	胸が痛む
79 自分より格上に練習の相手をしてもらう 「胸を〇〇〇」	胸を借りる
80 物事の理解が早く賢い 「〇〇〇〇〇〇に抜ける」	目から鼻に抜ける

81 新しい発想を得る 「〇〇〇〇〇〇が落ちる」	目から鱗が落ちる
82 とても忙しい 「目が〇〇〇」	目が回る
83 価値を見抜くことができる 「目が〇〇〇」	目が高い
84 良いものを見慣れており、見分けがつく 「目が〇〇〇」	目が肥える
85 良し悪しを見分けられる 「目が〇〇」	目が利く
86 程度がひどくて黙って見てられない 「目に〇〇〇」	目に余る
87 憎んで敵視している相手 「目の〇〇〇」	目の敵
88 見向きもしない、気にもしない 「目も〇〇〇〇」	目もくれない
89 あまりにもひどく見てられない 「目も〇〇〇〇〇〇」	目も当てられない
90 かわいがって面倒をみる 「目を〇〇〇」	目をかける
91 人の注意を向けさせる 「目を〇〇」	目をひく
92 目を大きくして驚く 「目を〇〇〇〇〇」	目を丸くする
93 目の前ことが信じられないくらい驚く 「目を〇〇〇〇」	目を疑う
94 優れたものなどを目の当たりにして、驚いたり感動したりする 「目を〇〇〇」	目を見張る
95 嬉しくて笑顔になる 「目を〇〇〇〇」	目を細める
96 物を探しているときに目を大きく開く 「目を〇〇にする」	目を皿にする
97 とても好き 「目が〇〇」	目がない
98 何もできない 「指を〇〇〇〇」	指をくわえる
99 機会を逃す 「あとの〇〇〇」	あとの祭
100 ごまかす 「お茶を〇〇〇」	お茶を濁す

101 降参する 「〇〇〇を脱ぐ」	かぶとを脱ぐ
102 弱音をはく 「〇を上げる」	音を上げる
103 投げ出す、途中であきらめる 「〇〇を投げる」	匙を投げる
104 ぼーっとする 「〇〇の空」	上の空
105 調子に乗る 「〇に乗る」	図に乗る
106 許して、なかったことにする 「〇〇に流す」	水に流す
107 話に合わせて返事する 「〇〇〇〇を打つ」	相づちを打つ
108 静かにする 「息を〇〇〇」	息を殺す
109 緊張している、驚いている 「息を〇〇」	息を呑む
110 どうしたらよいか分からず困る 「〇〇〇に暮れる」	途方に暮れる
111 繰り返し確認する 「〇〇を押す」	念を押す
112 上手な文章を書く 「筆が〇〇」	筆が立つ
113 もう一度同じことを期待する 「〇〇を占める」	味を占める
114 さらに強調する 「輪を〇〇〇」	輪をかける
115 ごくわずか 「雀の〇〇〇」	雀の涙
116 都合がいい 「〇〇がいい」	虫がいい
117 なんとなく予感がする 「虫が〇〇〇〇」	虫が知らせる
118 場所や土地の面積がとても狭いこと 「猫の〇〇〇」	猫の額
119 本性を隠しておとなしく見せる 「猫を〇〇〇」	猫をかぶる
120 気が合う 「〇〇が合う」	馬が合う

121 あまりにすぐれていて、とても感心する 「〇〇を巻く」	舌を巻く
122 がっかりして、元気をなくす 「〇〇を落とす」	肩を落とす
123 たいしたことはない、軽く見る 「〇〇をくくる」	高をくくる
124 遠慮する必要がなく、気楽につきあえる 「気が〇〇〇〇」	気が置けない
125 仕事や役が、その人にぴったり合ってくる 「〇〇につく」	板につく
126 仕事のとちゅうで、むだ話などをしてなまける 「油を〇〇」	油を売る
127 心配ごとや、いやなことがあって顔をしかめる 「〇〇をひそめる」	眉をひそめる
128 思いがけないことに出あって、おどろきあきれる 「〇〇〇にとられる」	あっけにとられる
129 全身の力をつくして、物事に取り組む 「〇〇〇〇を注ぐ」	心血を注ぐ
130 人のすることを助ける 「〇を貸す」	手を貸す
131 思ったことを、遠慮なくはっきり言う 「歯に〇〇着せぬ」	歯に衣着せぬ
132 多くの中から、特に選ばれる 「〇〇〇の矢が立つ」	白羽の矢が立つ
133 得意そうに、いばって歩く 「〇〇で風を切る」	肩で風を切る
134 とてもいそがしくて、だれでもいいから手伝ってほしい 「〇〇の手も借りたい」	猫の手も借りたい
135 力にくらべて、あたえられた役目が軽すぎる 「役〇〇〇」	役不足
136 どうなるかと、息をこらして見守る 「〇〇〇をのむ」	固唾をのむ
137 あきれたり、どうしようもないと思ったりして、身をちぢめる 「〇〇をすくめる」	肩をすくめる
138 元気をなくして、しょんぼりするようす 「青菜に〇〇」	青菜に塩
139 自分に都合の悪いことは知らんぷりをする 「〇〇に上げる」	棚に上げる
140 いろいろと考えて、工夫する 「〇〇〇をひねる」	頭をひねる

141 することがなくなって、ひまになる 「〇が空く」	手が空く
142 出しぬいて、相手をあっと言わせる 「〇〇を明かす」	鼻を明かす
143 はらはらしながら、なりゆきを見守る 「手に〇〇を握る」	手に汗を握る
144 ひどく無愛想に、冷たい態度をとる 「木で〇〇をくくる」	木で鼻をくくる
145 しゃくにさわって、がまんができない 「〇〇にすえかねる」	腹にすえかねる
146 とてもはずかしい思いをする 「〇〇から火が出る」	顔から火が出る
147 自分よりすぐれていると認めて、敬意をはらう 「〇〇〇〇置く」	一目置く
148 人のために、本気になって力を貸す 「一〇〇ぬぐ」	一肌ぬぐ
149 うまくいっていることのじゃまをする 「〇〇を差す」	水を差す
150 力を発揮したくて、うずうずする 「〇〇が鳴る」	腕が鳴る
151 人の言うことを聞こうとしない 「〇〇をふさぐ」	耳をふさぐ
152 世間に対して、はずかしくて堂々とできない 「〇〇〇が狭い」	肩身が狭い
153 時間もわすれるほど、物事に夢中になる 「〇〇〇〇〇を忘れる」	寝食を忘れる
154 すぐ目の前にあるように、はっきりとわかるようす 「〇に取るように」	手に取るように
155 ひどく混乱して、大さわぎするようす 「上を〇〇への大騒ぎ」	上を下への大騒ぎ
156 性質や行いがいやしい人を、ののしって言う言葉 「〇〇〇〇にも置けない」	風上にも置けない
157 物事の進み方がおそいこと 「〇〇の歩み」	牛の歩み
158 それとなく、人の考えや気持ちを知ろうとする 「〇〇を探る」	腹を探る
159 とても近いこと 「目と〇〇の先」	目と鼻の先
160 にげ道がなく、どうにもならないこと 「袋の〇〇〇」	袋のねずみ

161 すきについて、相手を失敗させる 「〇〇をすくう」	足をすくう
162 たがいに打ち解けて、親しく話し合う 「〇〇を交える」	ひざを交える
163 未練が残って、思い切ることができない 「後ろ〇〇を引かれる」	後ろ髪を引かれる
164 さからわずに、うまく受け流すこと 「〇〇〇に風」	柳に風
165 自分から進んで、ある役目を引き受ける 「〇〇〇〇買う」	一役買う
166 ひどくおどろいて、うろたえる 「〇〇を食う」	泡を食う
167 進む方向や方針を大きく変える 「〇〇を切る」	舵を切る
168 危険がせまっていて、今にもだめになりそうなこと 「風前の〇〇〇〇」	風前の灯
169 自分には関係がなく、少しも痛くないこと 「〇〇〇〇の火事」	対岸の火事
170 思いがけないことや、ありえないことが本当になること 「瓢箪から〇〇」	瓢箪から駒
171 その場のふんいきを感じ取って、ふさわしい行動をする 「〇〇〇を読む」	空気を読む
172 問題を投げかけて、反響を起こす 「〇〇〇〇を投じる」	一石を投じる
173 わずかな時間もむだにしない 「〇〇〇を惜しむ」	寸暇を惜しむ
174 勢いのあるものに、さらに勢いをつける 「火に〇〇〇を注ぐ」	火に油を注ぐ
175 計画などが、実際には役に立たないこと 「絵に描いた〇〇」	絵に描いた餅
176 納得がいかない 「〇に落ちない」	腑に落ちない
177 自分の力や立場にふさわしい 「身の〇〇に合う」	身の丈に合う
178 激しい勢いで、相手にさからう 「〇〇〇かかる」	食ってかかる
179 かくれていたものが、表に出てくる 「〇〇をもたげる」	首をもたげる
180 お金がなくて、生活がとても苦しい 「火の〇〇〇」	火の車

181 顔や形が、そっくりなこと 「〇〇二つ」	瓜二つ
182 聞くともしに聞く。ちらっと聞く 「〇〇にする」	耳にする
183 気持ちを引きしめて、まじめな態度をとる 「〇〇を正す」	襟を正す
184 女性や子どもの、かん高い声 「〇〇〇〇声」	黄色い声
185 相手をばかにして、ふんと笑う 「〇〇で笑う」	鼻で笑う
186 人が話しているところへ、横からわりこんで話す 「〇〇をはさむ」	口をはさむ
187 はげしく争う 「〇〇〇を削る」	しのぎを削る
188 うもれていたものが、世に知られるようになる 「〇の目を見る」	日の目を見る
189 つかれて、苦しそうに大きく息をする 「〇〇で息をする」	肩で息をする
190 相手に勝ちやてがらをゆずって、立てる 「〇〇を持たせる」	花を持たせる
191 興味をもって、その物事にかかわる 「〇〇をつっこむ」	首をつっこむ
192 待ちくたびれて、がまんできなくなる 「〇〇〇を切らす」	しびれを切らす
193 苦しんだり、ひどくおどろいたりして、あわてるようす 「目を〇〇〇〇させる」	目を白黒させる
194 力のある人の一言で、物事がすぐに決まること 「〇〇の一声」	鶴の一声
195 心配ごとがなくなって、ほっとする 「〇〇をなでおろす」	胸をなでおろす
196 口先だけで、心がこもっていないこと 「〇〇〇〇三寸」	舌先三寸
197 いやみに感じられて、いやになる 「〇〇につく」	鼻につく
198 できる限りの方法をためす 「〇をつくす」	手をつくす
199 しなければならないことを、いいかげんにする 「〇を抜く」	手を抜く
200 自信をもって、堂々とする 「〇〇を張る」	胸を張る

201	何の根拠もない 「根も〇もない」	根も葉もない
202	大切に、手ばなさないもの 「〇〇の子」	虎の子
203	食べ物の味が好みに合う 「〇〇に合う」	口に合う
204	人の話やすることに、横から言葉をはさむ 「〇〇を出す」	口を出す
205	大事な点を正しくとらえる 「〇〇を射る」	的を射る
206	見つけるのがすばやい 「〇が早い」	目が早い
207	秘密などを、軽々しく人に話さない 「〇〇がかたい」	口がかたい
208	お金などを、不足なく全部そろえる 「〇〇をそろえる」	耳をそろえる
209	名誉がきずつけられ、はじをかく 「〇〇がつぶれる」	顔がつぶれる
210	責任を果たして、ほっとする 「〇〇の荷が下りる」	肩の荷が下りる
211	ひまさえあれば本を読んでいる人 「本の〇〇」	本の虫
212	物事がめまぐるしく変わることのたとえ 「〇〇の目」	猫の目
213	大勢の男性の中に、女性が一人だけいること 「紅〇〇〇〇」	紅一点
214	(あとに打ち消しの言葉がきて) 決して。絶対に 「〇〇〇〇際」	金輪際
215	雪が降り積もって、一面が真っ白になった景色 「〇〇世界」	銀世界
216	あと少しのところ、危ないことになりそうなこと 「間〇〇〇〇」	間一髪
217	年が若く、経験の少ない男 「〇〇二才」	青二才
218	もう、どうすることもできない 「万事〇〇〇〇」	万事休す
219	受け取ったものを、すぐにほかへわたしてしまうこと 「右から〇〇〇」	右から左
220	目上の人にそむく。反抗する 「〇〇を引く」	弓を引く

221 たくらんだとおりになること 「思う〇〇」	思うつぼ
222 うらみをいつまでも忘れない 「〇にもつ」	根にもつ
223 気取った言葉を聞いて、いやな気持ちになる 「〇が浮く」	歯が浮く
224 相手の心を強く引きつける、うまい言葉 「〇〇〇文句」	殺し文句
225 心の中で、何となくうしろめたく思う 「〇がさす」	気がさす
226 勢いのよいところを見せる 「〇をはく」	気をはく
227 あれこれと心配して、いらいらする 「〇をもむ」	気をもむ
228 相手を信用して、用心をしなくなる 「〇を許す」	気を許す
229 強く感動する 「〇〇に響く」	胸に響く
230 技術がすぐれている 「〇〇が立つ」	腕が立つ
231 人との関係がおだやかでなくなる 「〇〇が立つ」	角が立つ
232 自分にはもったいないほどである 「〇に余る」	身に余る
233 思っている気持ちが、表情に表れる 「〇〇に出る」	顔に出る
234 苦勞して、力をつくす 「〇〇を折る」	骨を折る
235 自分のつごうのよいように、数をごまかす 「〇〇を読む」	さばを読む
236 関係がなくなる 「〇が切れる」	手が切れる
237 すぐに。ただちに 「〇〇を移さず」	時を移さず
238 くらべものにならない 「〇ではない」	比ではない
239 心配ごとがなくなって、心がさっぱりする 「〇が晴れる」	気が晴れる
240 じっと見つめる 「〇をこらす」	目をこらす